

令和6年度苅田港環境監視調査のお知らせ

発注者：九州地方整備局 苅田港湾事務所 建設管理官室
 TEL：093-436-0582
 受注者：三洋テクノマリン(株) 九州支社 TEL：092-283-1250
 現場責任者：山口 琴音（携帯：080-1021-7059）

1. 調査概要

本調査は、苅田港における環境監視の一環として、濁り監視調査、海域環境調査及び環境生物調査を実施するものです。

2. 調査期間

令和6年10月上旬～令和7年3月27日

・濁り監視調査：工事実施日にあわせて毎日行い、週1日は必ず採水を行います。

なお、工事期間後は、月に2日採水を行います。

・海域環境調査：秋季（11月）・冬季（1月）
 ・環境生物調査：秋季（11月）・冬季（1月） } 同日実施予定

※岸壁築造工事の床掘作業日を対象。令和6年度10月上旬から11月上旬を想定

3. 調査内容

1) 濁り監視調査：図1に示す各地点（●）及び岸壁工事箇所近傍（△）において、水質測定及び採水を実施します（図2参照）。

2) 海域環境調査：図3（下図参照）に示す各地点において、底質、流況調査を年1回、水質を年2回実施します。

- ・水質調査：図3に示す7地点（●、▲）において、大潮期に採水を実施します（図4参照）。
- ・底質調査：図3に示す3地点（▲）において、船上より海底泥を採取します（図5参照）。
- ・流況調査：図3に示す3地点（★）において、大潮期にあわせて観測機器を設置します（図6参照）。

3) 環境生物調査：図3に示す各地点において、プランクトン、卵・稚仔、底生生物、付着生物、魚介類調査を年2回実施します。

- ・プランクトン調査：図3に示す3地点（●）において、大潮期に採水器やネットを用いてプランクトンの採取を行います（図7参照）。
- ・卵・稚仔調査：図3に示す3地点（●）において、大潮期にネットを曳航し、魚卵・稚仔魚を採取します（図8参照）。
- ・底生生物調査：図3に示す3地点（●）において、船上より海底泥を採取し、フルイにかけた後、フルイ上に残った底生生物を採取します（図5参照）。
- ・付着生物調査：図3に示す3地点（★）において、潜水士により護岸に付着する生物の観察と採取を行います（図9参照）。
- ・魚介類調査：図3に示す1測線（▲及び—）において、桁網による試験操業を行い、魚介類を採取します（図10参照）。

4) その他 安全確保のため、流況調査の流速計設置・撤去時及び付着生物調査時は、安全監視船1隻を配備します。

4. 調査予定表

調査項目	令和6年度						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
濁り監視調査		■	■	■	■	■	■
海域環境調査			■		■		
環境生物調査			■		■		

※調査予定は、工事工程や天候等により変更する可能性があります。

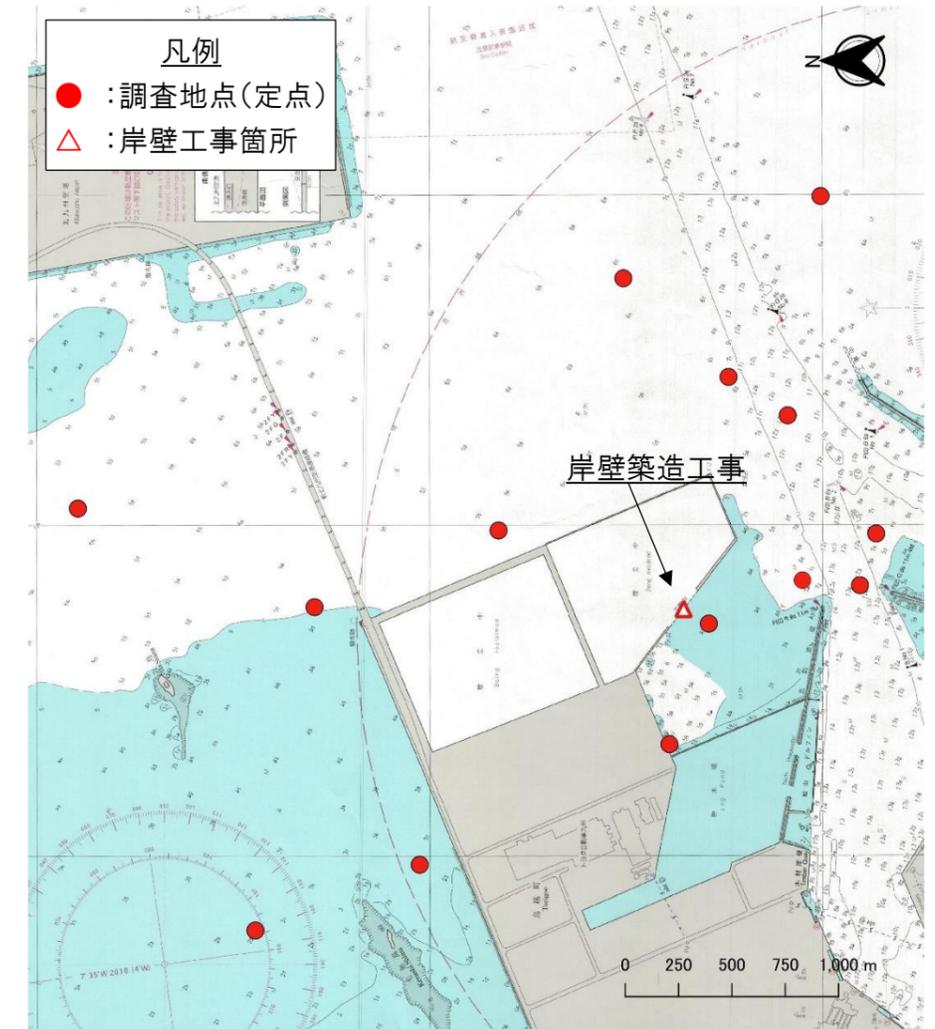


図1 濁り監視調査の地点位置

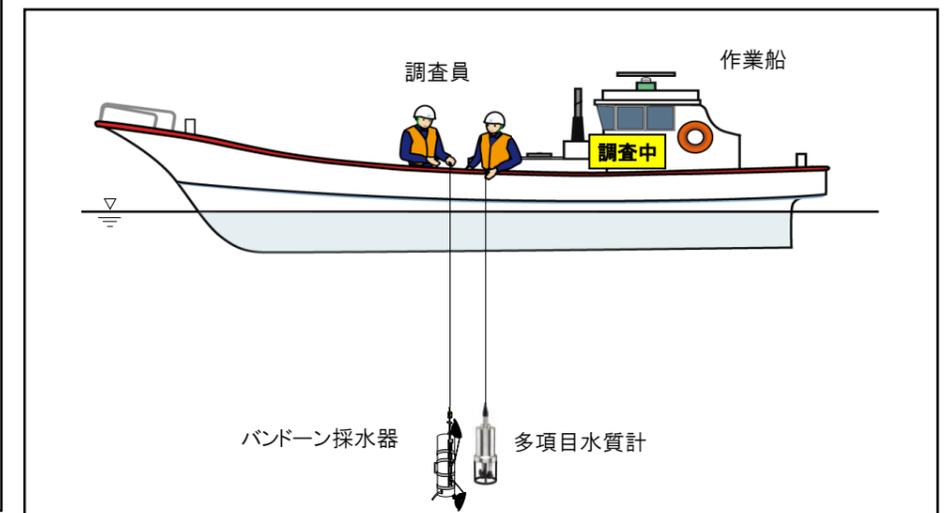


図2 濁り監視調査の模式

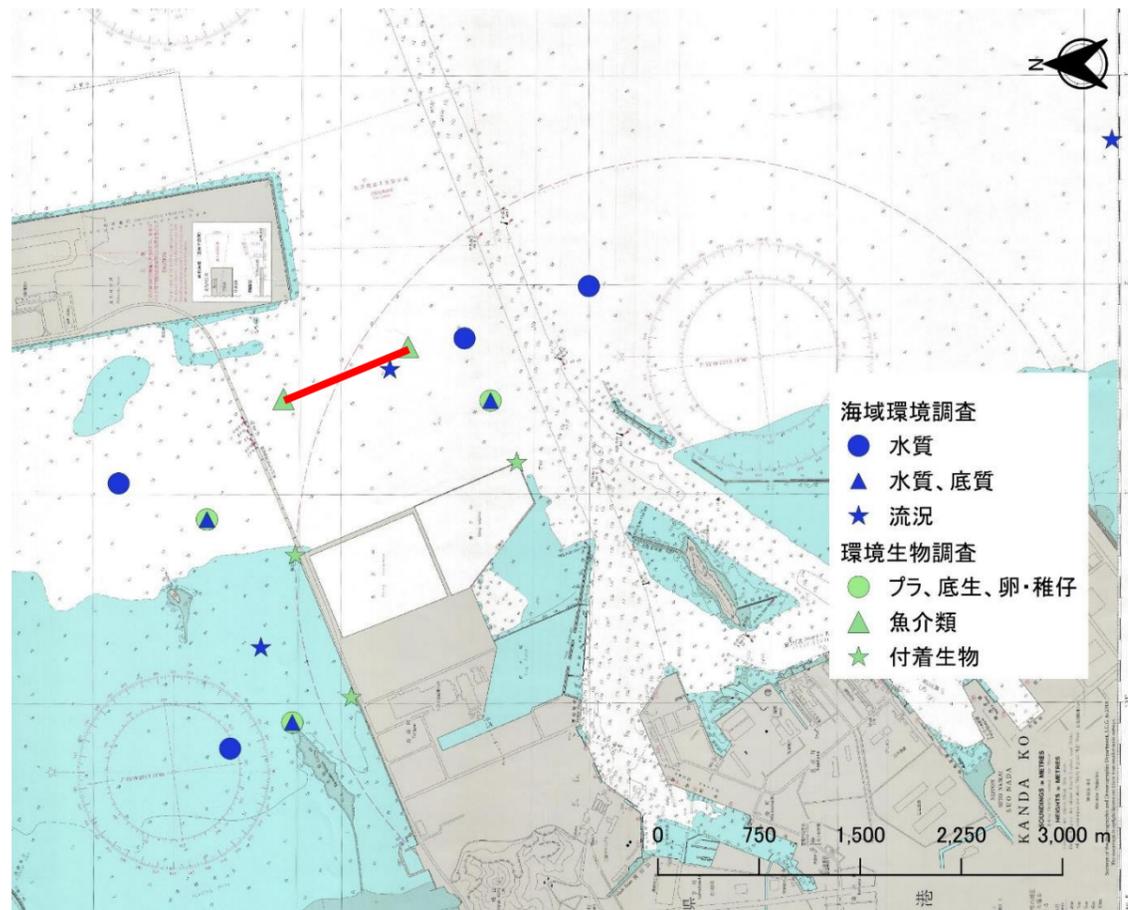


図3 生態系調査の地点位置

魚介類の▲は、底曳きの始点・終点を示す
 水質・底質調査（海域環境調査）
 プラクトン、底生生物、卵・稚仔調査（環境生物調査） } 同一地点（3地点）

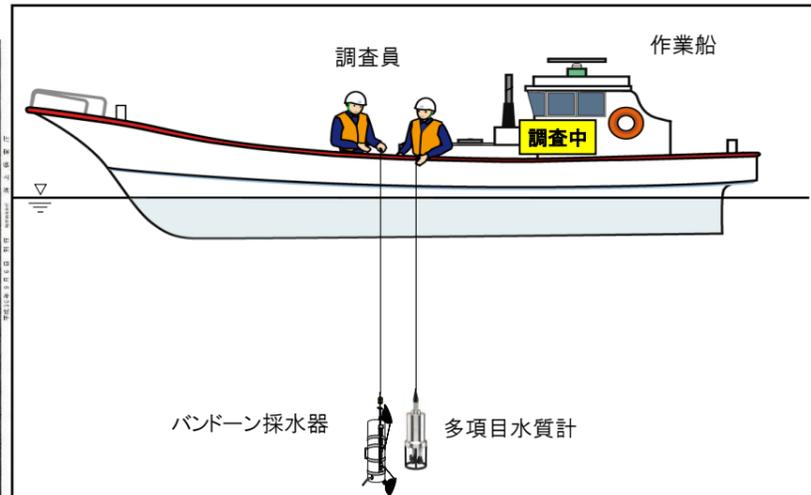


図4 水質調査の模式（●、▲）

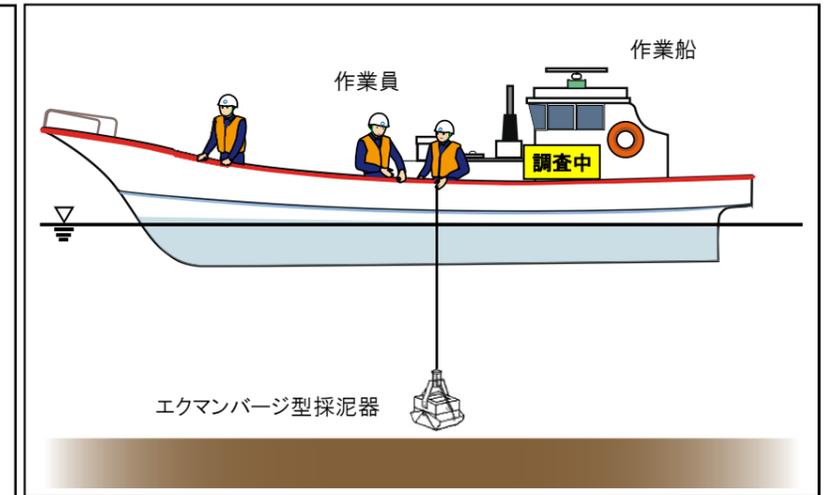


図5 底質・底生生物調査の模式（▲、●）

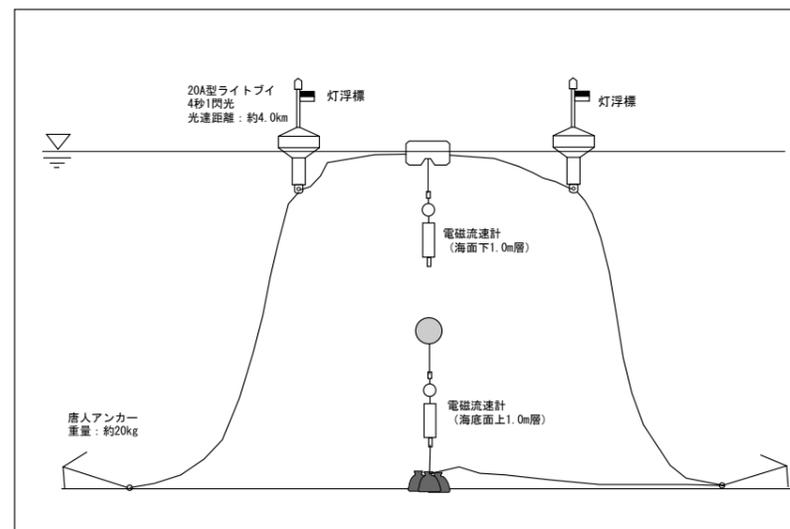


図6 流況調査の機器設置模式（★）

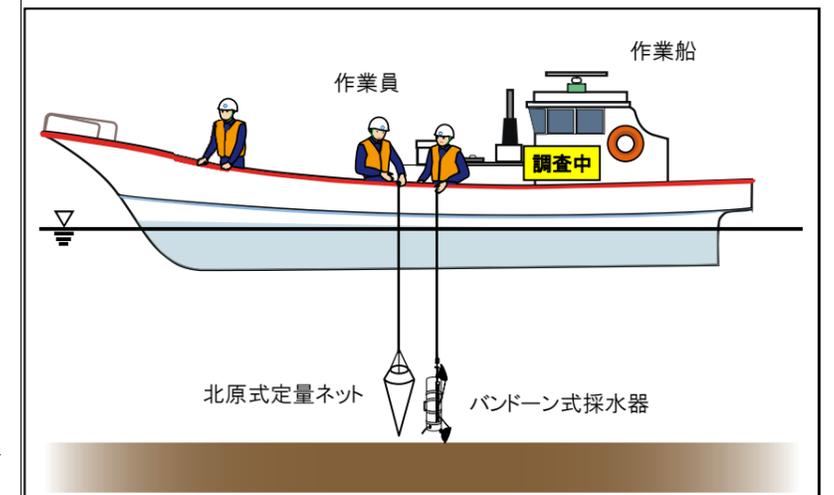


図7 プラクトン調査の模式（●）

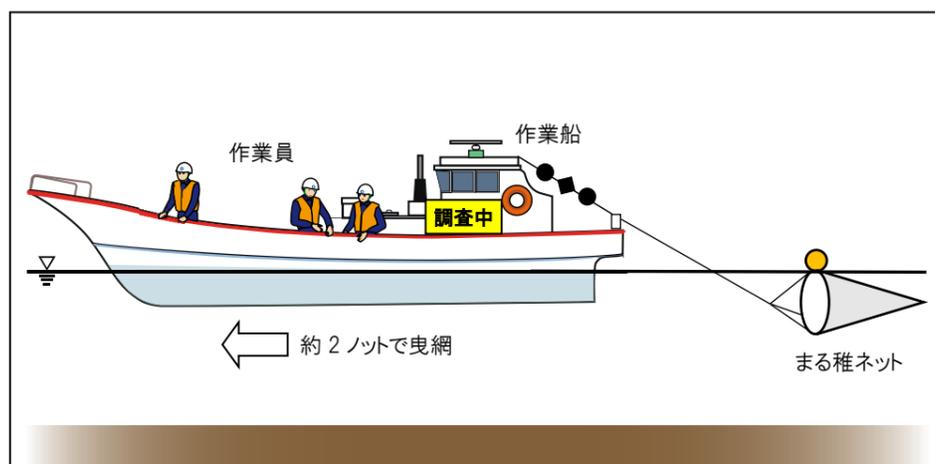


図8 卵・稚仔調査の模式（●）



図9 付着生物調査の模式（★）

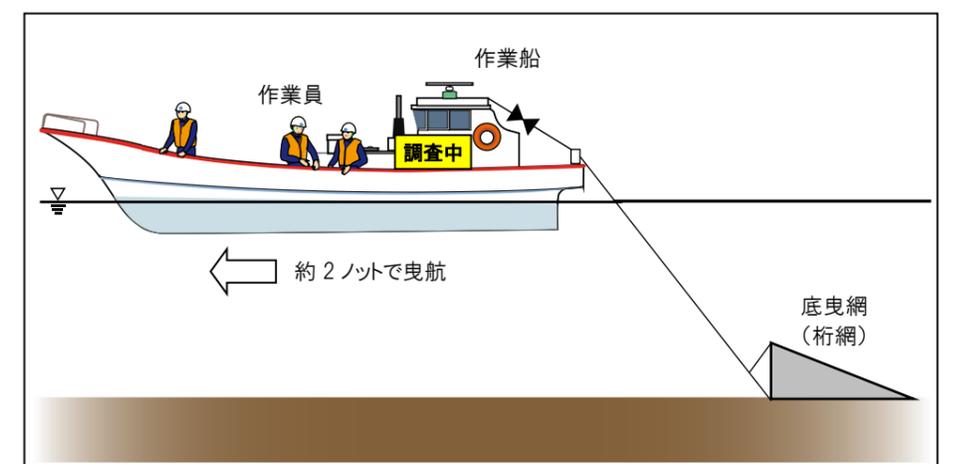


図10 魚介類調査の模式（▲）